

同窓会報

2023年(令和5年) 12月発行 須知高等学校 同窓会



同窓会長 片山 俊明

「あいつが」

日頃は、須知高校及び同窓会の活動に心からのご支援とご協力をいただき感謝申し上げます。

私は、中西和之氏の後の同窓会長としてお世話になることとなりまして、浅学非才の者ですがどうかよろしくお願ひいたします。

さて、母校はコロナ下の中で諸行事を縮小したり中止したりでありましたが、徐々に普通の活動に近づきつつあります。

今年度はホッケー部の男子が北海道で開催された全国大会に出場し、ベスト8に入り素

晴らしい活躍をみせてくれました。生徒数は少子化により少なくなっていますが、生徒と教職員が協力し合い、他校にない素晴らしい学習やクラブ活動を行い、こうして活動に京丹波町も支援をしていただいております。同窓生として嬉しく感謝をしております。



11月1日開校記念日講演会 片山健氏



「あいつが」

校長 坂本 正義

同窓会の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は、本校の教育活動の推進に格別な御理解と御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が今年5月より第5類感染症への移行に伴い、本校では、これまで制限されていた教育活動を生徒の安全・安心を最優先に考え、必要性を重視し積極的に実施しております。

さて、本校は地域と共に歩み、信頼され、地域の核として社会を支える人材を育成する学校を目指し、今年度の学校経営主題に「生徒の個性や能力を最大限に伸ばす、時代の変化に応じた個別最適な学びと地域とつながる協働的な学びの継承」を掲げ教育活動を推進しております。

昨年、竹細工職人の方から「地域創生推進校」の指定を受け、生徒の学力向上はも

とより、地域と連携した様々な特色ある取組を推進してまいります。はじめに今年度、本校の主な特色ある教育活動を御報告させていただきます。

一つ目は、学校横断型探究プロジェクトに取り組みしています。山形県小国高校、長野県阿南高校、島根県吉賀高校の生徒の皆さんと本校の生徒が探究活動についてリモートを通じ交流し、お互いの探究学習を深めることができるとともに、学び合うことができ、地域の方を講師にお招きし、伝統文化を継承する取組を行っています。普通科「芸術科」の授業で、二学期は和知太鼓保存会の方から「和知太鼓」について由来を学び、打ち方を御指導いただきました。また、竹細工職人の方からは、プロの技を学び、「六ツ目かご」作りに取り組みま

した。三つ目は、食品科学科の継続した取組です。地域の皆さんと連携した草花栽培や鹿肉ソーセージ、チーズなどの、新たな加工品の商品化に向けた取組を行っています。次に生徒たちの素晴らしい活躍について御紹介させていただきます。

一つ目は、農業クラブ活動です。今年度、近畿学校農業クラブ連盟の事務局長として、食品科学科の生徒の皆さんが近畿2府4県の学校農業クラブ連盟をとりまとめる連盟委員長や役員を務めてくれました。理事会の運営や8月に京都先端科学大学亀岡キャンパスを会場に開催しました第71回近畿学校農業クラブ連盟大会では、各府県の予選を勝ち抜いた高校生、関係者を含め250名が参加する大会となりました。食品科学科の生徒の皆さんが、先生方と一緒に頑張って大会を運営してくれました。農業を学ぶ高校生が選んで、全国大会のブロンズ賞に輝きました。また、11月に開催されました第40回日本菊花全国大会には、農業クラブ作物園芸部の皆さんが丹精込めて栽培した大キクが3部門で大賞を受賞する快挙を成し遂げてくれました。今年二つ目は、部活動です。今年

度の新生の加入率が70%を超え、体育系・文化系ともに活気あふれる部活動となりました。一学期、運動部ではインターハイ予選が行われ、生徒達は上位大会進出を目指し頑張っており、男子ホッケー部は府・近畿予選を突破し7月28日から北海道で開催されました全国高等学校総合体育大会(インターハイ)に出場し、ベスト8、同じく7月に和歌山県で開催された近畿高等学校ホッケー選手権大会に2年ぶり3回目の優勝といたす素晴らしい成績を収めてくれました。さらに、男女ホッケー部は、12月22日から東京都・山梨県で開催される全国選抜ホッケー選手権大会に男子は8年連続、女子は5年連続で出場することができました。同窓生の皆様をはじめ地域の皆様から多くの御声援並びに本校の男女ホッケー部の活動に対して、温かい御支援をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。

今後、地域とともに歩む学校として、本校がますます発展するよう努力して参りますので、格別御指導、御鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

教育振興会からのお知らせ

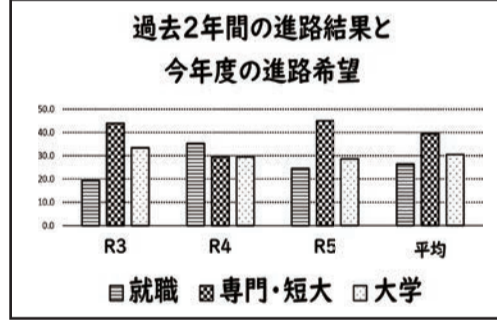
杉岡 密雄 様に (91歳) 感謝状を贈呈

長年に渡り、須知高等学校教育振興会へ多額の御寄附をいただいた、須知高等学校第3回卒業生で福岡県北九州市在住の杉岡密雄様(91歳)に対し、長年の功績を称え、この度、教育振興会長並びに校長より感謝状と記念品を贈呈することといたしました。



進路指導部だより 小野 仁

今年度の3年生の進路希望は、就職12名、専門学校19名、短大3名、四年制大学14名執筆時)で、割合にすると順に24.5%、38.8%、6.1%、28.6%となります。就職、専門学校、短大、四年制大学と大きく3つのグループに分けてみると、大まかにそれぞれ3分の1ずつと見ていいと思います。実は、本校の進路(希望)は近年この割合が続いています(グラフ参照)。このように、本校生徒の進路先は多岐に渡っており、それぞれに合った指導が必要となりますが、少人数の強みを生かし、担任、教科担当、進路指導部など全ての教職員が、生徒一人ひとりの進路について向き合い、きめ細かく指導をしております。



を、今のうちに身に付けておくことが非常に重要です。準備が不十分であれば、せっかく進んだ進路先でうまくいかなかったり、その結果諦めてしまったりすることもあるかもしれません。そうすると本人はもちろん、受け入れた側も保護者も学校も、誰も幸せにはなりません。高校生のみならずには、安易な進路選択をせずにしっかりと将来をイメージし、進路選択をしていくことを願っています。そうすることで、高校生のうちから姿勢、必要な知識や能力等を身に付けることができるのではないのでしょうか。このように進路指導部は、生徒の進路先だけでなくその先を見据えた指導を心掛けております。同窓会会員の皆様には、今後とも本校の指導に御理解・御協力をいただければ大変有難く存じます。

開校記念日講演会

京丹波町の未来と須知高校 講師 片山 健 氏 平成元年卒

11月1日、開校記念日講演会が開催され、講師として本校を平成元年(1989年)に卒業された京丹波町産業建設部商工観光課長 片山健氏をお招きし、「京丹波町の未来と須知高校」の演題で講演いただきました。高校時代から大学に至る「しくじり」のお話から始まり、大学では色々な経験を積み、多様な人に会うことで視野が広がった経験談。「みなさんも多くの人に会い、色々な経験を積んでほしい。」叱咤激励から始まりました。京丹波町は高齢化と人口減少が進んでいます。須知高校は府立高校でありながら京丹波町にもあります。須知高校の有り様は京丹波町の有り様に比例し、京丹波町と須知高校は一体です。京丹波町がポジティブイメージなら須知高校も同じです。話の後半では、生徒とともに取り組む京丹波町のブロンズ戦略についてお話がありました。複雑で不確実な時代の課題解決の手法であるデザイン思考の意味、タウンプロモーションとは、新しいブランドロゴとともに「想いでつなげる「グリーン」を指すこと。そしてキャッチフレーズは「GREEN KYOTAMBAJI」を掲げます。

男子ホッケー部大健闘!!

私たちが近畿大会優勝後、インターハイで良い成績を残すために、更にチーム一丸となり練習に取り組みました。部員は11人と少ない中で、試合に勝ち続けることはとても難しいことでしたが、目標をベスト8以上とみながら話し合っていました。目標達成のために、走り込みや試合形式の練習を工夫して行いました。夏の暑さで心が折れそうなきも取り組みました。目標達成に向けみんなで励まし合いました。一人一人が役割をしっかりと果たし、ベスト8まで勝ち上がる事ができました。現在は、全国高校選抜大会に向け更にチーム一丸となって頑張っております。引き続き応援の程よろしくお願ひいたします。



- 令和5年度 部活動等の主な結果 (全国大会等は太字で表記)
1、第72回平和市民スポーツ大会(バドミントンの部) 男子シングルスE級優勝・男子ダブルスD級優勝
2、第45回近畿高等学校ホッケー選手権大会 男子ホッケー部優勝
3、令和5年度全国高等学校総合体育大会出場(インターハイ) 男子ホッケー部ベスト8 優秀選手として2名選出
4、令和5年度ユース(アンダー18) 男子ホッケー日本代表選手として1名の生徒が選出される
女子ホッケー日本代表選手として1名の生徒が選出される
第2回NHDPミルナワンカップ2023にて準優勝
5、令和5年度ジュニア(アンダー21) 男子ホッケー日本代表選手として1名の生徒が選出される
6、第74回京都府学校農業クラブ連盟大会 意見発表 分野I類 優秀
プロジェクト発表 分野I類 優秀 分野II類 優秀
農業情報処理競技会 優秀2名
和牛審査競技会 優秀
7、特別国民体育大会ホッケー競技会 京都選抜少年女子 第3位 2名の生徒が出場
8、第7回高校生東南アジア小論文コンテスト 学校奨励賞
9、第12回子ども読書本しおりコンテスト 佳作
10、令和5年度税に関する高校生作文コンテスト 税務署長賞
11、第17回京都府美術芸術教育展 京都府教育賞・佳作2名
12、第40回日本菊花全国大会 三本立12鉢花壇の部 農林水産大臣賞
切花組花の部厚物異種 環境大臣賞
切花単花の部 防衛大臣賞
福助花壇の部 和泉市議会副議長賞
切花単花の部 優秀賞
切花単花ジャンボサイズの部 入選
13、令和5年度第55回全国高等学校選抜ホッケー大会出場 男子ホッケー部・女子ホッケー部

須知高校先輩から

高校で得た自分の強み



福井工業大学 工学部
令和5年卒 梶本 瑛太

須知高校での3年間を振り返って、私は何でも挑戦できる環境に恵まれた学校生活を送っていたと感じています。高校1年生のとき、私のクラスは全員で12人と当時の須知高校では特に人数の少ないクラスだったのを覚えています。授業によっては先生1人と生徒2人だけで学習することも

須知高校を経て



株式会社 湖池屋京都工場
令和5年卒 辻 捺星

私は、須知高校に通うことができて良かったと思っています。もともと勉強が大の苦手だったため、勉強に対してあきらめ気味でテストの点が悪くても気にする事もありませんでした。しかし、須知高校に通い始めてから、勉強に取り組む姿勢が少しずつ変わ

須知高校での3年間



京都産業大学 経済学部
令和5年卒 梅原 一能

私にとって須知高校での3年間は、とてもかけがえのない時間でした。部活動に勉強、友人との日々の生活など、心に残っていることはたくさんあります。特に部活動での経験は、自分を成長させてくれた大きなものだと感じています。私は

高校生活での思い出



大阪動物植物海洋専門学校 動物飼育看護学科
令和5年卒 山本 葉奈

私が3年間、須知高校で過ごした思い出や経験は、とても貴重なものとなりました。今まで消極的な部分が多かったですが、学校生活を重ねていくと積極的な気持ちも少しずつ増えました。その中でも特に、自分から農業クラブの会長に立候補し、全体を引

私も会長として生徒会本部で活動していました。その経験が、いまは大学の学園祭の企画・運営をする中で、企画する力やアイデア力として活かされていると思います。それだけでなく、クラスメイトの前で授業をさせてもらったり、いつでも先生に質問ができたことは大学での課題の取り組みや発表の良い練習になっていたりと感じています。現在、私は福井工業大学で建築士を学んでいます。はじめの頃は、専門用語はさっぱり分からなかった、製図は線を引くところからの練習なので、正直先が思いやられましたが、今年の

私は現在、湖池屋京都工場で働いています。仕事内容は、請求書の処理や入社手続き、物品発注など様々な事を行っています。始めは覚えることが沢山あり、内容も今更に分かたことがない難しい事ばかりでしたが、失敗することも多々ありましたが、須知高校で「諦めない力」を身に付けた私は、次はどのような失敗もかまわない、か、どうすればうまくいくのか、という自然と向き合っていくことができるようになっていきました。最近では、南丹市の柚子を使用した商品が販売され、テレビや新聞にとりあげられ

すが、今思えばかけがえのない大切な時間だったと感じます。連合チームを組んだことも自分の中で成長できた実感があります。キャプテンだったこともありチームをまとめるのが自分の仕事でしたが、須知高校に入学したからこそできた貴重な経験になりました。学習面においても先生と生徒の距離が近く、とても充実感のある授業が多かったです。思い返すと、受験期にも手厚くサポートしていただいたことを覚えています。現在、私は京都産業大学で

しく、いつの日か「会長をやってみよう」と思うようになり、新しい自分を見つけている事ができました。私は現在、大阪動物植物海洋専門学校動物飼育看護学科動物飼育コースで、飼育実習や座学に励んでいます。動物の命を預かっているため、責任感を持ちながら、小さな異常に気づけるように観察も大切に行っています。授業内容も難しく、レポート提出や放課後当番、アルバイトなど、毎日忙しく大変ですが、動物たちが癒されながら頑張っています。まだ、将来については決

総合的な探究の時間「京丹波学」について

地理歴史・公民科 辻 垣晃

総合的な探究の時間（以下、総探）は、別名「京丹波学」と呼びます。これは京丹波を学ぶというよりも京丹波で学ぶ、つまり、自らの興味関心に基づいて課題を設定し、地域を活用して設定した課題を解決していきます。生徒が主体となり、個別最適な学びを実現できるとも面白い取組です。今年度、2年2組地域探究コースでは、16名が防災・福祉・食・環境・音楽・広報の6つのコースに分かれて取り組んでいます。文理進学コースの1名は、「AIに心はあるのか」というテーマで、1名は「牛と共に生きるには」というテーマで探究に取り組んでいます。1学期当初、探究活動の基礎を「探究学習の手引」（須高作成）を使って学ぶところから始めました。夏休みには、課題解決に向けたアクションを起こそうという目標を立て、地域のイベントに参加した生徒や大学訪問して情報収集した生徒もいました。

（教育経営学）の助言を得て、ともに向けて進めています。生徒達の目標は、1月に開催されるマイプロジェクトアワード（総探の甲子園）出場です。生徒達の学びの成果が楽しみです。さて、1年生の京丹波学では、2年生の取組につながるよう、1学期に町役場や地域の方を講師としてお招きして地域の課題について学習し、2学期からは今年度の2年生のように、自分たちの興味に応じて課題を設定して解決に向けた取組を進めています。探究の基礎を2年生から学ぶ経験を通じて、2年生で本格的な探究活動につなげていけたらと思います。探究の過程で、地域の方がご協力が必要となる場面が多々あるかと思いますが、その際は、どうか協力をお願いいたします。

オンラインで他府県の高校生と交流する様子

フォトニュース



1年生 校外学習



須高祭（体育の部）



須高祭（文化の部）



2年生 沖縄研修旅行



第71回近畿学校農業クラブ連盟大会



3年生 校外学習

京都市立須知高等学校同窓会 令和5年度 役員名簿

会長	片山 俊明	高21	京丹波町
副会長	上田 清和	高26	亀岡市
庶務	木久三重子	高22	京丹波町
会計	岩崎 弘一	高26	京丹波町
監査	藤田 義幸	高24	京丹波町
幹事	永口 茂治	高21	南丹市
顧問	樹山 静雄	高26	京丹波町
顧問	中西 和之	高17	京丹波町
顧問	塩瀬 正明	高18	東京都
顧問	田中 宏明	高25	京丹波町
顧問	桐野 正則	高28	京丹波町
顧問	寺井 行雄	高22	京丹波町
顧問	湊 昌平	高15	京丹波町
顧問	一井 公子	高16	京丹波町
顧問	太田 昌和	高39	京丹波町
顧問	吉田 晴美	高23	京丹波町
顧問	上田 隆司	高16	京丹波町
顧問	西田 明範	高22	京丹波町
顧問	中野 肇	高25	京丹波町
顧問	上田 雅信	高23	京丹波町
顧問	清水淳之助	高22	京丹波町
顧問	谷 碩子	高15	京丹波町
顧問	森田 一三	高21	京丹波町
顧問	吉田 正美	高22	南丹市
顧問	塩貝 義久	高27	南丹市
顧問	中尾 達也	高33	京丹波町
顧問	江本 正昭	高19	京丹波町
顧問	福井 隆	高19	京丹波町
顧問	長谷川博文	高23	京丹波町
顧問	西田 三郎	高27	京丹波町
顧問	佐藤 庸平	高45	京都市

TEL 0772(8)21171 (同窓会係) (敬称略)